

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月27日 (2011.10.27)

【公開番号】特開2009-131602(P2009-131602A)

【公開日】平成21年6月18日 (2009.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2009-024

【出願番号】特願2008-228471(P2008-228471)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/31 (2006.01)

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/31

A 6 1 M 5/24

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日 (2011.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 および第 2 端部を有するカバーと、
前記カバーの前記第 2 端部に接続された突出部と、
前記カバーおよび前記突出部によって収容されるように構成された針と、
前記カバーに接続された取り外し可能フランジと、
を備え、

前記フランジが、前記カバーから取り外される際、注入装置のキャップによって前記カバーおよび前記突出部を収容することができることを特徴とする注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 2】

前記取り外し可能フランジは、前記カバーの前記第 1 端部に接続されることを特徴とする請求項 1 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 3】

前記取り外し可能フランジは、前記カバーから離れる方向に面する下面を有し、
滅菌バリアを形成するために、前記取り外し可能フランジの前記下面にラベルが貼り付けられることを特徴とする請求項 1 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 4】

前記突出部上の第 1 の周辺ラインは、適切な投薬を容易にすることを特徴とする請求項 1 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 5】

第 1 および第 2 端部を有するカバーと、
前記カバーの前記第 2 端部に接続された突出部と、
前記カバーおよび前記突出部によって収容されるように構成された針と、
前記カバーの前記第 1 端部に接続される取り外し可能なフランジであって、その一部が、前記取り外し可能フランジを前記カバーから容易に取り外すために、断面が縮小された厚み部分を有する取り外し可能フランジと、
を備え、

前記フランジが、前記カバーから取り外される際、注入装置のキャップによって前記カバーおよび前記突出部を収容することができることを特徴とする注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 6】

前記取り外し可能フランジを前記カバーから容易に取り外すために、前記取り外し可能フランジにタブが接続されることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 7】

前記取り外し可能フランジを前記カバーから容易に取り外すために、前記取り外し可能フランジ内にノッチが形成されることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 8】

前記取り外し可能フランジを前記カバーから容易に取り外すために、前記取り外し可能フランジが穿孔されることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 9】

前記取り外し可能フランジは、前記カバーから離れる方向に面する下面を有し、滅菌バリアを形成するために、前記取り外し可能フランジの前記下面にラベルが貼り付けられることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載の注入装置用針カバーアセンブリ。

【請求項 10】

注入装置に針カバーアセンブリを接続する方法であって、
中に配置される針を含む針カバーアセンブリを設けるステップと、
本体の外径が、注入装置のキャップの内径より小さくなるように、針カバーアセンブリの前記本体から取り外し可能フランジを取り外すステップと、
針カバーアセンブリを、注入装置のカートリッジに接続するステップと、
針カバーアセンブリがキャップの中に配置されるように、キャップを注入装置の外側スリーブに接続するステップと、を含む方法。